



JBC news

since 1970

【毎月1回10日発行・1部20円】

JBCニュース
第595号 2022年1月10日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square 511号室
03 (6804) 5605
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>



一球入魂 -2022-



特性を活かし、 時代に対応を

公益財団法人 全日本ボウリング協会

会長 北川 薫

2022年の年頭にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルスとの対峙も、足掛け3年となります。当初、不要不急の対象に芸術やスポーツが含まれました。そのことは、どんなにギスギスした社会を生み出したのか、を再び考えてみてください。身体の健康だけでなく、心の豊かさを保つための営みがいかに重要であるかを、我々は再認識しました。

コロナは形を変えつつ依然と猛威を振るっています。しかし、それなりに正体および対応策が分かってきました。むやみに恐れることは我々自身の首を絞めることとなりますが、今まで通りに十分に気を使っていくのは当然のことです。コロナにより我々の考え方、生活の仕方は大きく変動しました。決して元の状態に戻る事はできません。新しい生活様

式を作り上げていかねばなりません。コロナに対しては理性的に恐れる、と言うべきでしょう。

JBCは国の指針に従いながらも、2020年秋には全国大会を開催して参りました。そのためには、会場、主催者の十分なお配慮、およびボウラーの方々の熱意があったの事でした。心より感謝申し上げます。今日まで、主催事業において感染拡大を起こさずに来たという実績の下に、JBCは今後も大会を開催して参ります。

一方で、時代は多様性を旗頭にして進展しています。ボウリングは男女のスコアに性差がなく、スポーツ競技として男女が一緒に戦うことができます。また、レクリエーションとして一家が揃ってプレイできるという特性もあります。多種あるスポーツで、ボウリングは最も多様性の高いスポーツと言えるでしょう。

ボウリングは、新しい生活様式や、時代に即した価値観に対応するポテンシャルを持ち合わせています。我々JBCは、より多くの人々がボウリングに出会い親しめる機会を創出し、人々が心身ともに健全であるよう寄与してゆく所存です。

2022年が、ボウラーの皆様、ボウリングファンの皆様とともに、この苦境を乗り越え、明るい兆しを感じることでできる一年となりますよう祈念いたします。倍旧のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

二〇二二年 元旦

監	事	常務理事	専務理事	顧問	副会長	会長
三嶋正志	岸邊輝	柳川弘	原口宏	森永耕	伊藤一	根田光
野上川	田崎治	近坂幾	犬島浩	松島宗	高橋秀	米澤尚
西林康	不破伸	佐藤直	齋藤良	臼井日	塚田芳	吉岡英
北川薫						

公益財団法人
全日本ボウリング協会

JBCニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています



Season's greetings and best wishes for the New Year.

スポーツ庁



長官 室伏 広治

令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

スポーツは世界共通の人類の文化であり、全ての人が各自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創ることができます。

令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、様々なスポーツ活動に大きな影響を与えているところですが、ポリング競技の競技力向上や普及・発展のために、感染症対策を講じながら数多くの競技大会を開催いただいております。

貴協会におかれましては、今年度もポリング競技の競技力向上や普及・発展に努めていただくとともに、国内・国際競技大会等でますます御活躍されることを期待いたします。

2022年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、近代オリンピック史上初めの延期となった第32回オリンピック競技大会(2020/東京)が安全・安心に開催されました。

新しい形を東京レガシーとして世界に伝えました。今大会では追加競技として、野球・ソフトボール、スリーボール、スケートボードが加わり、全33競技339種目に、205の国と地域とオリンピック難民選手団を含み1万1000名を超える選手が集まりました。

その舞台の準備に携わったすべての方々に感謝しながら、その舞台で自身ができる最高のパフォーマンスを発揮し、競技後には結果に関係なく、お互いのパフォーマンスで開催するオリンピックの

ス、これまでの道のりをたたえ合う多くのアスリートの姿を目にしました。これはまさにオリンピックの本質であり、改めてスポーツの価値を示してくれるものでした。

その目標の達成のためには、関係競技団体との連携が不可欠になります。貴協会との引き続きの連携のもと、国民の皆様に対しオリンピックを普及・促進し、青少年の健全な育成に取り組んでいくことを望んでおります。



写真:アフロスポーツ/JOC

公益財団法人 日本オリンピック委員会

会長 山下 泰裕

織り込み、「東京2020大会を顧みずとも、未来の社会を動かす中心にいてほしい」という思いを込め、「スポーツの価値を守り、創り、伝える」をビジョンに、本会の「ありたい姿」をあらためて検討し、今後の目指すべき姿、長期的、永続的に求め、目指すべき姿としていきます。

結び、公益財団法人全日本ボウリング協会の益々の発展と、関係各位のご活躍をご期待申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

公益財団法人 日本スポーツ協会



会長 伊藤 雅俊

2022年の年頭にあたり、全国のボウリング愛好者の皆様へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心がますます高まってきたと実感しております。さらには人々のスポーツに対するニーズが多様化し、地域に根差すスポーツ活動の重要性が増すとともに、スポーツを通じて、国民が生産にわたる心身ともに健康で文化

的な生活を営むことができる社会的実現が望まれております。この様な中、ボウリングは子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツとして幅広く愛好され、国民のライフスタイルに合ったスポーツ活動の充実に対し、多大な貢献をされています。競技スポーツの観点からも、文部科学大臣杯第45回全日本中学ボウリング選手権大会、JOCジュニアオリンピックカップ第45回全日本高校ボウリング選手権大会、そして2年ぶりの開催となりましたNHK杯第54回全日本選抜ボウリング選手権大会では多くの初優勝者が誕生し、加えて小学生特別指導

輝ける2022年の新春を心からお慶び申し上げます。

また、今年もボウリング界は国内外で多くの大会の開催が予定されており、愛好者の皆様にはフェアプレーの精神でより飛躍したプレーをご期待申し上げます。

このことを感じております。これもひとえに、ボウリングの普及と競技力向上に取り組み、着実な発展を遂げておられます。関係者の皆様の並ならぬご尽力の賜物であり、深甚なる敬意を表す次第であります。

環境の整備推進に向け、今後ともご尽力いただきますことにも、当協会と一層の連携を図っていただきますよう、何卒よろしくお申し込み申し上げます。

この他にも気を緩めることなく、これまでと同様にガイドラインを遵守しながら、しかし同時に、これまでなかなか活動ができなかった方も合わせ、今年度は是非日本ボウリング機構(JBO)を機能させ、ボウリング業界が一体となって、是非反響に転じてまいりましょう。

日本ボウリング場協会は、ボウリングの灯を消さぬよう従来にも増して努力を続けてまいりますので、北川会長はじめ、役員、会員の皆様のご支援・協力をより強くお願い申し上げます。

最後に、貴協会のますますのご発展と、今年度のJBC会員皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

公益社団法人 日本ボウリング場協会

会長 中里 則彦



皆様にはお健やかに過ぎ今年をお迎えのこと、弊協会を代表してごあいさつを申し上げます。

皆様にはお健やかに過ぎ今年をお迎えのこと、弊協会を代表してごあいさつを申し上げます。

間にも、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、全国のスポーツ・レジャー施設は過去に類を見ないほどの大きな被害を受けました。

ボウリング場も諸にその煽りを受け、昨年緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除された後も、なかなか一般

のお客様は戻ってきません。そんな厳しい状況の中でも、ボウラーの皆様は、「待ってました」とばかりに、いち早くボウリング場に戻ってきてくれたのです。

ボウリング場を生業として、ボウリング業界が一体となって、是非反響に転じてまいりましょう。

日本ボウリング場協会は、ボウリングの灯を消さぬよう従来にも増して努力を続けてまいりますので、北川会長はじめ、役員、会員の皆様のご支援・協力をより強くお願い申し上げます。

最後に、貴協会のますますのご発展と、今年度のJBC会員皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

最後に、貴協会のますますのご発展と、今年度のJBC会員皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

あけましておめでとうございます

2022年 元旦

公益社団法人 日本ボウリング場協会 会長 中里 則彦 〒140-0004 東京都品川区南品川 2-2-10 南品川Nビル3F ☎ 03-6433-0450 FAX 03-6433-0451 http://www.bowling.or.jp/

株式会社ウェルズホーム 代表取締役社長 小柴 修 〒963-8047 福島県郡山市富田東一丁目310番地 ☎ 024-936-0660 FAX 024-936-0661 https://www.wells-home-web.com/

レジェンドスター株式会社 代表取締役 高橋 節雄 〒182-0012 東京都調布市深大寺町8-2-9 ☎ 042-480-2341 FAX 042-480-2344

ファイテン株式会社 代表取締役 平田 好宏 〒604-8152 京都市中京区手洗水町678 ☎ 075-229-7575 FAX 075-229-7509 http://www.phiten.com/

株式会社ハイ・スポーツ社 会長 川島 幸一郎 代表取締役 川島 一男 〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1259 ☎ 045-471-9445 FAX 045-471-9447 http://www.hi-sp.co.jp/

株式会社エナジックボウル 代表取締役 下地 賀寿守 〒904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜9-8 ☎ 098-926-3939 FAX 098-926-3800 https://www.enagicbowl.com/

サンブリッジグループ 株式会社サンブリッジ 株式会社サンリッチインターナショナル 代表取締役 橋本 政明 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台1丁目10-3 ☎ 078-797-6230 FAX 078-797-6231 http://www.sunbridge-group.com/

日本ボウリング商工会 理事長 川島 一男 〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1259 ☎ 03-3371-2735 FAX 03-3371-2735

株式会社 アメリカンボウリングサービス 代表取締役会長 渡邊 保美 代表取締役社長 伊東 正美 〒143-0021 東京都大田区北馬込1-1-1 ☎ 03-5718-7111 FAX 03-5718-7112 http://www.absbowling.co.jp/

公益社団法人 日本プロボウリング協会 会長 谷口 健 〒105-0023 東京都港区芝浦1-13-10 ☎ 03-6436-0310 FAX 03-3454-6140 https://www.jpba1.jp/

京王観光株式会社 取締役社長 杉田 伸一 〒151-0061 東京都渋谷区初台1-54-2 ☎ 03-5351-7141 FAX 03-3373-1615 www.keio-kanko.co.jp

公益社団法人 日本プロボウリング協会



会長 谷口 健

2022年新年にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

感染症拡大により、感染者減少傾向にありますが新たな変異株が見つかり、予断を許さない状況が続くと思われますが全国のボウリング場も、僅かではありますがお客様にこれまで通り頂いております。

2021年はそのような状況下ではありましたが、東京オリンピック、東京パラリンピックが無事開催され日本選手団の大活躍もあり、成功裏に終了しました。

2022年も全日本ボウリング協会様とさらに良い関係構築を期し、JBO(日本ボウリング機構)の活動に協力してまいります。



理事長 川島 一男

新年にあたり謹んで新春のお慶びを申し上げます。

緊急事態宣言期間中と、年初の予想を遥かに超える感染拡大に見舞われました。各ボウリングセンターでは営業自粛や営業時間短縮を余儀なくされ、業界にとって過去に類をみない極めて厳しい1年であったと痛感しております。

この新型コロナの蔓延を機に、我々の生活スタイルは以前とは全く別ものになっていく中で、室内競技、室内コミュニケーションツールであります。

皆様の「変化への適応」のアイデアにより、多様な価値観のもと、一層の業界変革意欲をもった活動を今後も期待しております。

第70回日本スポーツ賞

群馬県ボウリング連盟に

競技団体別最優秀賞

第70回日本スポーツ賞(売新聞社制定)の競技団体別最優秀賞に、群馬県ボウリング連盟(宮澤拓哉・渡辺莉央・清水風太・渡辺希理)が選

ばれました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今回は2019年12月からの2年間に活躍した選手・チームの中から選考が

行われました。群馬県ボウリング連盟は、2020年11月に開催された第49回全国都道府県対抗選手権大会において、内閣総理大臣杯(団体総合優勝)と文部科学大臣杯(男女選手権者)を独占する快挙を遂げ、その成績が評価されました。

に開催された第49回全国都道府県対抗選手権大会において、内閣総理大臣杯(団体総合優勝)と文部科学大臣杯(男女選手権者)を独占する快挙を遂げ、その成績が評価されました。

に開催された第49回全国都道府県対抗選手権大会において、内閣総理大臣杯(団体総合優勝)と文部科学大臣杯(男女選手権者)を独占する快挙を遂げ、その成績が評価されました。

に開催された第49回全国都道府県対抗選手権大会において、内閣総理大臣杯(団体総合優勝)と文部科学大臣杯(男女選手権者)を独占する快挙を遂げ、その成績が評価されました。

に開催された第49回全国都道府県対抗選手権大会において、内閣総理大臣杯(団体総合優勝)と文部科学大臣杯(男女選手権者)を独占する快挙を遂げ、その成績が評価されました。



(左から) 渡辺希理、渡辺莉央、宮澤拓哉、清水風太

受付中です!

ボウリング教室(キャラバン隊) 全日本ショナルチームの地下質守監督が各地を巡る出張レッスン「キャラバン隊」。兵庫・奈良会場の参加者を募集中です。協会会員・非会員問わず参加可能です。

申込締切 1月21日(金) 詳細情報と申込用紙ダウンロードは協会ホームページ(https://www.jbc-bowling.or.jp/topics/21294)より。 申込締切 2022年2月14日(日)

※対象は2021年度JBC公認ドリラー有資格者で、プロンス資格取得から2年経過した方です。

※定員10名に到達次第受付を締め切ります。詳細情報と申込用紙ダウンロードは協会ホームページ(https://www.jbc-bowling.or.jp/topics/21119)より。

特別個人会員 2021年12月1日以降登録者 山口県 江藤孝(連盟常務理事) 順不同 敬称略

スポーツくじ TOTO BIG

2021年度各連盟公認競技会・リーグ登録数表

株式会社 アイワ徽章 代表取締役 村松 寛治

株式会社 AIR 代表取締役 鷲見 隆史

ミーフコーポレーション 寺村 眞代

株式会社 アサヒボウリングサービス 代表取締役 福 森 建 司

日本エボナイト株式会社 代表取締役社長 加藤 章

エースランド株式会社 宮崎 エースレーン 代表取締役社長 藤元 良一

株式会社 イースタンスポーツ 代表取締役社長 中野 明

株式会社 グランドボウル 代表取締役社長 原澤 謙司

徳島県ボウリング公認競技場協議会 徳島県ボウリング場協会 会長 森 博史

福岡県公認ボウリング場協会 会長 秀 嶋 康 成

株式会社 イマジクリエイション 代表取締役 柴山 均

東洋ネーム工業 社長 島 隆 三

株式会社 サンシステムサービス 代表取締役 石川 年子

(株) ベースボール・マガジン社 ボウリング・マガジン 代表取締役社長 池田 哲雄

株式会社 B.Jプラネット 月刊ボウリングジャーナル 代表 越智 祐吾

文部科学大臣杯 第59回全日本大学選手権大会

初優勝



沖縄国際大学

女子の部
予選1回戦は京都産業大学が3ゲームともプラスに乗せる安定感で12033とした。2年ぶりの優勝を目指す青森中央学院大学もトータルを1200台に乗せて2位につけた。連覇を狙う沖縄国際大学は1165で4位発進となったが、2回戦は1209トスコアを伸ばして2位に浮上。しかし京都産業大学は1回戦をも大幅に上回る138

0で、沖縄国際大学に1209ピンのリードを作った。
3回戦は京都産業大学が1194、沖縄国際大学は1171でわずかに差が広がった。しかし同志社大学Aはこのシリーズ1246とし、沖縄国際大学に12ピン差まで迫った。
準決勝では、同志社大学Aが沖縄国際大学を逆転して2位に上がった。熾烈な位争いの一方で京都産業大学は1299で再び打ち上げて、356ピンの

リードを作るに至った。
1ゲーム分にも到達しよつかという差をつけられた沖縄国際大学だったが、決勝戦では意地

文部科学大臣杯第59回全日本大学選手権大会が12月4日(土)から6日(月)にかけて、京都・キョーイチボウル宇治(公競No.126・063)で開催された。
男子は昨年初出場で準優勝に食い込んだ沖縄国際大学が、雪辱を果たす初優勝。女子は京都産業大学が大会新記録で圧倒し、6年ぶりに頂点に返り咲いた。

閉会式で挨拶する英隆会長
開会式で挨拶する彦哲委員長

王座奪還



京都産業大学

を見て1179で締めくくった。他を圧倒している京都産業大学だが、大会記録までは1395と決して簡単には出ないスコアが必要だった。しかし1ゲーム目に481、2ゲーム目も472をマークして新記録に現実味が。最終ゲームも期待に応えて479を打ち、記録とともに

男子の部
男子はこのグループに分かれて予選を行った。A・B組では京都産業大学が3ゲームとも1000UPして首位発進を決め、2位の岡山商科大学に18

ガイド
全日本大学選手権大会は、全日本学生連合に加盟する大学チームが、男子は5人チーム戦、女子は2人チーム戦で日本一の座を争う大会。競技は予選9ゲーム、準決勝3ゲーム、決勝3ゲームを行い、男女の優勝校には文部科学大臣杯が授与される。

女子は京都産業大学が大会記録を5年ぶりに塗り替えた。男子の大会記録は2009年に京都産業大学が残した17100で、かつてアベック11連覇を遂げた強豪の名が並んだ。
男子は沖縄国際大学が昨年の女子に続いで優勝。沖縄県が含まれる九州学連の大学としては初めての男子制覇となった。

6ピン差をつけた。しかし2回戦は振るわず、名古屋産業大学に3ピン差まで迫られしまった。
A・B組が2回戦まで終えたところから出番を迎えたC・D組では、青森中央学院大学が286で1回戦1位につけたが、2回戦に沖縄国際大学が3269の高スコアで逆転した。全組2回戦まで終えた時点で、トップは沖縄国際大学の6119で青森中央学院大学Aが52ピン差。京都産業大学は3位で2ピンと248ピン差がついていた。
3回戦では、沖縄国際大学が3208、青森中央学院大学Aが3217と拮抗し、その差は41ピンとさらに縮んだ。3位以下

下には500ピン近い差をつけて、優勝争いは早くも各校に絞られた。
準決勝も沖縄国際大学は3168、青森中央学院大学Aは3124をマーク。85ピン差は5人チーム戦においては決して大きくはないリードで、勝負は決勝戦に持ち越された。
明暗が分かれたのは1ゲーム目。1043としっかりとプラスに乗せた沖縄国際大学に対し、青森中央学院大学Aが痛恨の911。リードを217ピンに広げた沖縄国際大学は、2ゲーム目も1049とし、そのまま逃げ切った。昨年初出場にして準優勝した新鋭が、勢いそのまま頂点を極めた。

文部科学大臣杯第59回全日本大学ボウリング選手権大会成績表

2021年12月4日(土)～6日(月)
会場：京都・キョーイチボウル宇治

男子5人チーム戦 (5×15G)	初優勝	
選手権校 沖縄国際大学	西島本有生・平良直也・新垣夏輝 登川陸・中里隆和・比嘉巧真	15,552
準優勝 青森中央学院大学A	西山響・石田智輝・石岡大空 中村祐麻・鴻巣 翔	15,300
第3位 名古屋産業大学	村瀬峻哉・高野稜也・山田裕汰・山下琢朗 林 元輝・平岩海斗・辻井裕大	14,884
第4位 岡山商科大学	小松侑誠・川下祐生・大園琢矢・高橋晃大 川崎未来・大西 蓮・木原 陸	14,609
第5位 京都産業大学	庵 健次郎・滝沢向星・前田剛志・寺地真輝 立花和貴・松本悠太郎・西田亮太	14,525
第6位 千葉商科大学	東海 純・山本青空・小倉和真・中野信吾 村田飛翔・太田 悠・千田祐太	14,072
チームゲーム 名古屋産業大学	村瀬峻哉・高野稜也・山田裕汰・山下琢朗 林 元輝・平岩海斗・辻井裕大	1,189
チームシリーズ 沖縄国際大学	西島本有生・平良直也・新垣夏輝 登川陸・中里隆和・比嘉巧真	3,269
個人ハイゲーム 増田 啓 佑 (全日本学連選抜)	277	
個人ハイシリーズ 庵 健次郎 (京都産業大学)	746	
個人ハイアベレージ 東海 純 (千葉商科大学)	215...5	
個人ハイアベレージ 石岡 大 空 (青森中央学院大学A)	215...5	
女子2人チーム戦 (2×15G)	6年ぶり17度目	
選手権校 京都産業大学	安田明香里・立花沙貴・谷口滯奈	*6,581
準優勝 沖縄国際大学	大城美幸・許田美香・仲里 葵	6,032
第3位 同志社大学A	戸塚真由・大瀨梨乃	5,923
チームゲーム 京都産業大学	安田明香里・立花沙貴・谷口滯奈	487
チームシリーズ 京都産業大学	安田明香里・立花沙貴・谷口滯奈	1,432
個人ハイゲーム 安田 明香里 (京都産業大学)	279	
個人ハイゲーム 戸塚 真 由 (同志社大学A)	279	
個人ハイゲーム 岩 元 美 咲 希 (名古屋産業大学)	279	
個人ハイシリーズ 安田 明香里 (京都産業大学)	793	
個人ハイアベレージ 安田 明香里 (京都産業大学)	221...8	

*...大会新記録

第53回全日本大学個人ボウリング選手権大会

2022/2/16(水)▶18(金)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
協力 日本ボウリング機構(JBO)
主管 全日本学生ボウリング連合 関東学生ボウリング連盟

新狭山グランドボウル
〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山1-1-9
TEL 04-2952-2111

第39回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会

2022年1月28日(金)～30日(日)

川崎グランドボウル

〒210-0012 神奈川県川崎市川崎区宮前町11-14
TEL 044-244-2281

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 公益財団法人 神奈川県スポーツ協会
協力 日本ボウリング機構(JBO)
主管 神奈川県ボウリング連盟

女子2人チーム戦



準優勝の沖縄国際大学



第3位の同志社大学A



個人HG・HS・HAの
安田明香里(京都産業大学)
個人HGの岩元美咲希
(名古屋産業大学)



個人HGの戸塚真由
(同志社大学A)



チームHG・HSの京都産業大学

男子5人チーム戦



準優勝の青森中央学院大学A



第3位の名古屋産業大学



第4位の岡山商科大学



第5位の京都産業大学



第6位の千葉商科大学



チームHGの名古屋産業大学



個人HGの増田啓佑
(全日本学連選抜)

個人HSの嵐健次郎
(京都産業大学)



個人HAの東海純(千葉商科大学一左)と石岡大空(青森中央学院大学A)



チームHSの沖縄国際大学

スポーツくじ



スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

JBC会長杯

第37回全日本年齢別 ボウリング選手権大会

2022.2.11(金・祝)▶13(日)

- 主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援 公益財団法人 三重県スポーツ協会
NPO法人 津市スポーツ協会
三重県ボウリング公認競技場協議会
- 協力 日本ボウリング機構(JBO)
- 主管 三重県ボウリング連盟



津Grand Bowl

〒514-0821 三重県津市垂水字下境915-1
TEL 059-227-7415

新型コロナウイルス 感染しない・させない ために

JBCでは「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」に基づき、各種イベントを開催します。

詳しくは協会ホームページ内「新型コロナウイルス感染症への対応について」(<http://www.jbc-bowling.or.jp/coronavirus/>)をご覧ください。



※ガイドラインは、現段階で得られている知見等を踏まえて内容を取りまとめています。今後、新たな知見等によって、適宜見直しが行われることがあることを予めご了承ください。

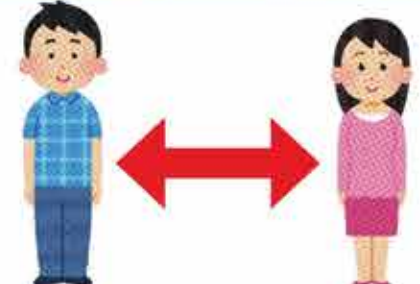
イベント参加中は…



マスクを持参し、着用してください。(マスクを着用しての競技を認める。受付時や会話をする際にはお互いにマスクを着用する。着替え時等のスポーツを行っていない際も着用する。)



こまめに手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。(人が多く触れる場所を極力、直接さわらない。顔を極力さわらない。)



他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保してください。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)

競技中は…



大きな声で会話、応援等をしないでください。



競技開始前のあいさつでは握手をしません。



ハンドタッチは禁止とします。(チームメンバー同士でも禁止)

会場入場の際は…



サーモグラフィーもしくは非接触型体温計により体温を計測し、37.5度以上の方は入場を禁止とします。



イベント当日、入場時に体調などに関する確認書を提出していただきます。(発熱・咳などの症状の有無、家族や身近な知人に感染が疑われる方の有無、連絡先などの質問)

その他 入場条件

- ・マスクを着用してください。
- ・入場口でアルコール等による手指消毒を実施してください。

日頃から…



熱中症対策を含めた体調管理に努めてください。(こまめに水分補給し休憩する。体温や体調の変化と行動を記録するなど)



運動は無理のないように慎重に、運動強度を調節しながら行ってください。(とくにマスクを着用する場合)

- ・ **三つの密を避けましょう**
(密閉・密集・密接)
- ・ **咳エチケットを心がけましょう**